

様式2

八百津町告示第13号の2

パブリックコメントの回答について

住民の方から寄せられた意見の概要とそれに対する町の考え方及び最終案は下記のとおりです。

令和3年3月22日

八百津町長 金子 政則

- (1) 募集案件 「八百津町公共施設再編計画」「八百津町公共施設個別施設計画」「八百津町学校施設長寿命化計画」にかかる意見の募集について
- (2) 募集期間 令和3年2月12日～令和3年3月13日
- (3) 意見提出数 4件

意見の概要	意見に対する考え方
施設名ぷららの宿泊に関して止めるよう提案をします。 その前に耐震についての検討も必要です、建築はかなり前で基準から外れていると思われる。 他町に無い施設であり、まして宿泊施設としての機能は財政上削るべきです。	蘇水峡山荘（ぷらら）については、本館の耐震診断により耐震性能を満足していることを確認していますが、設備等の老朽化が進んでおり、ご指摘のとおり、建物の維持に相当な財政上の負担があることが考えられます。本計画案で示すとおり、老朽化の状態、利用ニーズ、代替施設の有無などを勘案して廃止を検討します。 なお、施設等の老朽化により、令和3年4月1日から休館とする予定です。
支所の機能を最小限にする、特に集会広間はもっと狭く1カ所でサロンのような部屋も不要。	本計画案で示すとおり、支所を設置している施設のうち、錦津コミュニティセンター以外の施設については、利用ニーズ、代替施設の有無などを踏まえ統廃合や複合化、施設規模の縮小・減築などを検討し、施設再編を推進します。 錦津コミュニティセンターについては、本計画案の見通し期間である40年間は、長寿命化を図りながら今の施設を維持するとしていますが、今後、環境変化等に応じ適宜計画を見直します。

<p>ファミリーセンターも有効的に利用か？現状で活用が疑問です。</p> <p>なぜなら、以前5年ほど前に町主催の座談会が数回あり、クリスマス会などはすべて庁舎西の防災会館で行われた。</p>	<p>当該施設については、各サークル団体、公民館講座、高齢者学級、乳幼児学級、町行事などさまざまな活動に活用しています。</p> <p>なお、本計画案で示すとおり、建物の長寿命化を図ったうえで、将来の建替えの際には、利用ニーズ、代替施設の有無などを踏まえ規模を縮小することを検討します。</p>
<p>支所数も減らす2040年までには、経産省の予測で同町は消滅する（自治体として十分に成り行かない）、行政及び施設を20年後を想定するべきです。</p> <p>人口そのものも2万人にはならない、17,000人を超えることはもう無いでしょう。</p>	<p>本計画案は、持続可能な公共施設マネジメントの確立を目指し、40年後までを見通して、今後10年間で必要な対策をまとめたものです。人口については、第2期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略における2060年の本町の目標人口4,984人を想定しており、公共施設の床面積50%削減を目標としています。</p> <p>また、今後の計画更新にあたっては、支所が設置されている施設を含むすべての施設について、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルを活用し、更新時の状況に合わせて統廃合等を再検討したいと考えています。</p>

(4) 最終案 別添